

まっすぐ



田中智也
県政レポート
政策特別号

発行人:田中智也 〒510-0839 四日市市青葉町800-177 電子メール:bottlenose@khaki.plala.or.jp
TEL・FAX:059-353-5995

たくさんのご意見をお待ちしております!

皆さんの思いを県政に届けます!!

県民の皆さんの県政への要望は多様にとりまわります。全てのご要望に対応すべきですが、意見の違いや財政上の問題などから必ずしもそうはならないことも事実です。多くのご要望を取りまとめ検討し、優先順位をつけ、毎年県民アンケートを実施しては、その結果を参考に、県民の皆さんが県政に何を求めているのかを探ってみました。田中智也とともに皆さんもぜひお考え下さい。

雇用・産業・教育・福祉・防災が課題

23年調査から... 平成23年まで三重県は「県民一人一人の政策」として44項目の政策について、その満足度と重要度を調査してきました。23年調査結果を表した図表1を見るのと、重要と感じている項目がAゾーンに位置しています。「雇用」「地域商工業」「医療」「学校教育」「青少年」「交通安全」「防災」

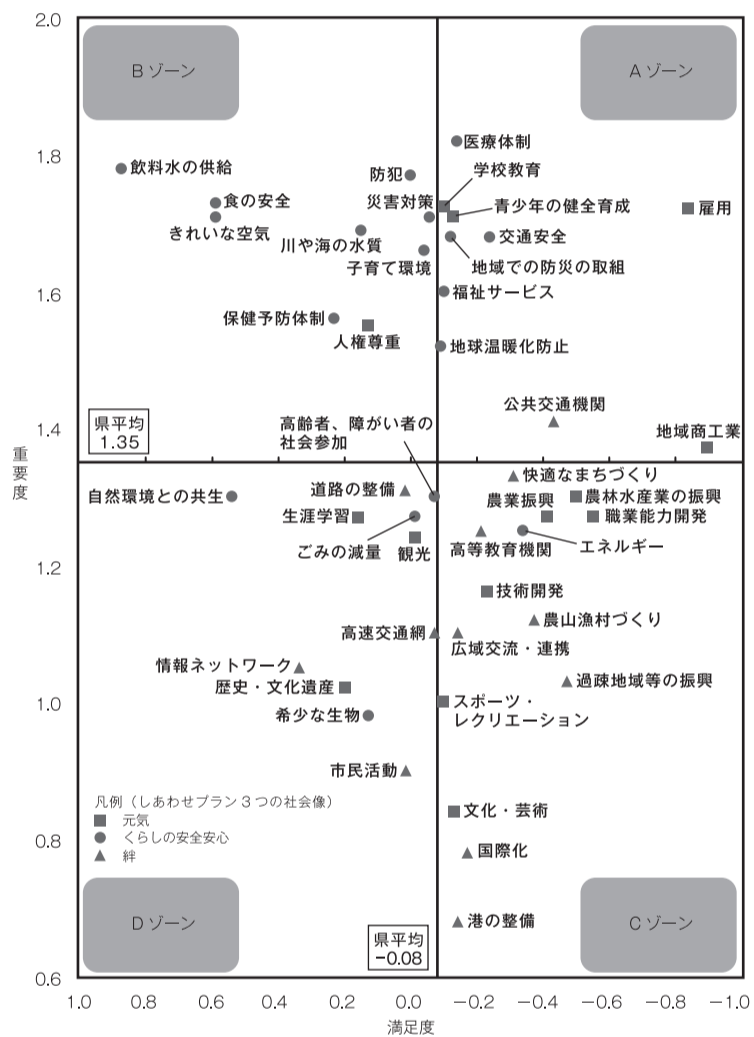
25年調査から...

平成24年は調査方法を変更し「県民意識調査」として実施しました。25年に定めた16の政策分野で、県民の実感度を調査し、その結果をグラフとして表したのが図表2です。それを

県民の求める優先政策

この2つの調査から、何が求められているのかを探ると、「雇用」分野が第一であり、「産業」分野も実感が低く雇用との関連から非常に重要な課題です。また「教育」や「福祉」「防災」も重要な政策分野です。他の分野でも重なる政策はありますが、設問の違いから幸福実感度(満足度)が微妙に異なるなど判断しにくい状況です。少し乱暴かもしれませんが「雇用」「地域産業の振興」「学校教育」「福祉」の

図表1 重要度・満足度プロット図 (重要度と満足度の関係(平成23年度))



図表2 地域や社会の状況についての実感 (項目別)

項目	実感している層					実感していない層				
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない
(1)災害等の危機への備えが進んでいる	27.2	35.2	25.0	6.5	30.6	30.6	6.2	60.2	-6.3	
(2)必要な医療サービスが利用できる	10.8	38.0	23.3	17.5	7.9	48.8	(3.4)	40.8	(-4.3)	
(3)犯罪や事故が少なく安全に暮らしている	13.9	47.5	19.6	13.9	61.4	(2.5)	33.5	(-2.9)		
(4)必要な福祉サービスが利用できる	6.0	28.0	26.6	17.7	18.6	34.0	(1.3)	44.3	(-1.7)	
(5)身近な自然や環境を守る取組が広がっている	25.9	33.8	21.5	12.9	29.1	(0.7)	55.3	(-1.2)		
(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている	18.1	35.1	26.4	15.6	20.4	(0.6)	61.5	(-1.8)		
(7)子どものためになる教育が行われている	25.5	28.7	20.4	19.2	28.9	(1.2)	49.1	(-0.8)		
(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている	10.8	43.0	21.8	9.0	12.7	53.8	(0.6)	30.8	(-0.7)	
(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている	14.1	43.0	17.8	8.7	13.2	57.1	(0.5)	26.5	(-2.2)	
(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい	34.5	38.6	11.6	7.3	5.7	73.1	(0.0)	18.9	(-0.8)	
(11)文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる	6.5	30.4	30.9	15.5	13.7	36.9	(2.1)	46.4	(-2.7)	
(12)三重県産の農林水産物を買いたい	48.0	38.5	4.8			86.5	(-0.9)	7.8	(-0.1)	
(13)県内の産業活動が活発である	24.7	36.9	15.3	16.6		28.6	(0.8)	52.2	(-1.9)	
(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている	13.2	33.6	36.2	12.3		15.3	(1.6)	69.8	(-2.9)	
(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる	18.6	32.7	25.9	17.7		21.0	(3.7)	58.6	(-5.6)	
(16)道路や公共交通機関等が整っている	5.9	34.9	28.1	24.3		40.8	(3.3)	52.4	(-3.5)	

充実した「地域防災対策」の5項目が全体として県民が求める優先政策と位置づけられると見えるので、5項目以外にも重要な政策分野があることは言うまでもありません。ご要望は少なくとも当事者にとっては大事な課題であり、そのことも十分意識して県政に当たらなければならぬことは当然です。

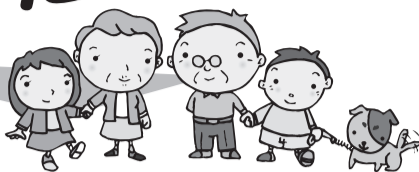
重要度の高い医療政策

「医療」や「公共交通」「環境」なども重要な政策分野です。とりわけ「医療」の分野は25年調査では幸福実感度が5割近くになって見えます。重要度が一番高く満足度も高くあり、満足度の高い分野です。医療に対する満足度は改善傾向にありますが、ニーズの高い分野であることから、改善が求められ、政策分野とされています。特に三重県の医療政策は、全国平均を大きく下回っており、状態が厳しいと捉えておく必要があると考へられます。北勢地域は県内の他地域と比較すれば医療体制が充実しているものの、補完できる体制へと強化を図る必要があります。





語りたい!!



田中 智也 の政策

県民アンケート結果から考えること!

5項目そして医療

裏面では「雇用」「地域産業」「教育」「福祉」「防災」の5項目といずれの調査においても重要度が高く、私自身の現場経験を活かすことのできる「医療」について、現状の課題と対策について述べたいと思います。

私がこれまでの議員活動の中で、調査してわかってきたことや県民の皆さんから、そして現場で働く人々からお話を聴かせていただきながら考えていることです。

雇用の充実と産業の活性化に向けて

平成25年5月の経済指標から見た三重県経済の情勢については、鉱工業生産指数、有効求人倍率、新設住宅着工戸数などでは数ヶ月連続で上昇しており、総じて「持ち直しの動きがみられる」とされていますが、個人消費の指標である大型小売店販売額は過去2年間ほぼ横ばいで推移し、企業倒産も前年同月比46.8%の増となっているこ

とから、県民の実感としては、先行きは不透明でまだまだ厳しいと感じている状況であることが分かります。県では県内事業所の大半を占める中小企業の具体的な振興と持続的な発展につなげていくため、「三重県中小企業振興条例(仮称)」の制定に向けて取り組んでい

進捗する高齢社会の中で、三重県の喫緊の課題の一つとして介護施設への入所待機者の解消があると考えています。平成24年度では1,740人の入所希望者が「介護度が重度でありながら在宅生活

安心できる福祉のために



ていました。平成23年度の2,123人に比べて改善はされているものの大きな課題となつていきます。県は平成26年度までに計画的に解消することを目指してありますが、かなり困難な状況といえます。また、県内の介護現場で働く人々の離職率は高く、その確保も困難な状況にあります。県としても介護職員への研修等の取り組みは行っていますが、根本的に処遇改善に向けた独自政策を展開するべきであると考えています。

地域医療の維持と確保について

平成24年5月に若手医師の県内定着のための支援を行う「三重県地域医療支援センター」を設置し、医師の不足・偏在への対策に実施される

若千の改善はみられ、10万人当たり1.38人の医師数は平均約2.93人と全国平均より大きく下回り、とりわけ伊賀や志摩地域では救急や産科医療などが深刻な状況が続いています。また、同様に深刻であるのは、この問題を取り

上げ、平成25年度からは看護職員の離職防止や復職支援のため、院内保育所支援や研修会等が始まりました。今後も県民の命と健康を守るために、地域医療の現場に身を置いてきた議員として、医師不足を始めとする課題解決に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えています。

教育の充実と青少年の育成のために

三泗地域の小中学校を直接訪問し、さまざまな意見を聴かせていただきました。一番感じたことは「社会や地域、家庭などの環境が急激に変化する中で、子どもを見守る大人の数が少ない」ということでした。

12月の三重県議会の中で県当局に養護教諭の配置基準の見直しについて質問をいたしました。国の法律で定められていることから県独自の配置基準の見直しには至りませんが、子どもたちや保護者への相談対応を充実するべく、平成24年度には県内全中学校区へスクールカウンセラーを配置させることができると見込んでいます。今後、「子どもたちの大いなる可能性を引き出せる」環境づくりのために、小中学校すべての学年における少数教育の実現に向けて取り組んでいきたいと思つてい

平成24年8月に内閣府から南海トラフ巨大地震による県内の死者の想定が43,000人を超えることが公表されました。発生確率は極めて低いとのことですが、東日本大震災からの教訓に学べば、防災減災対策を怠らずに講じておくことは最重要課題です。東日本大震災では釜石港が被災後の救援物資の受け入れをはじめ復旧、復興に大きな役割を担ったことから、平成24年12

地域防災対策の充実に向けて

月の三重県議会の中で県当局に対する一般質問で四日市港の防災減災対策及びBCP(事業継続計画)の重要性を取り上げました。また、県では「三重県新地震・津波対策行動計画」を策定中ですが、地震に対する備えは当然のことながら、近年頻発するゲリラ豪雨やそれに伴う河川の増水に対する対策も喫緊の課題と捉えています。特に人口が密集する都市部の河川における堆積土砂の対策に、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

あなたの声をお聴かせください

今号の「田中智也県政レポート」は県のアンケート調査から5項目そして医療の政策分野を優先政策として抽出し論評しましたが、県民の皆さんにも多くの意見がお有りだと思います。今後の私(田中智也)の政治活動の参考とさせていただきます。皆さんの声をお聴かせたいと考えました。つきましては、以下の項目について、別添のハガキでご回答いただければ幸いです。

問1

次の政策分野の中から、あなたが優先度の高いと思う5つの項目を選び優先度が高い順に回答1から5に番号をご記入下さい。

- ①雇用 ②地域産業の振興 ③学校教育 ④福祉の充実 ⑤防災対策 ⑥医療体制の充実 ⑦公共交通の充実 ⑧環境保全 ⑨子育て ⑩人権 ⑪スポーツ ⑫文化・芸術 ⑬社会参画 ⑭保健・予防体制 ⑮その他(具体的に)

回答1 () 2 () 3 () 4 () 5 ()

問2

今回とりあげた5項目そして医療の政策分野について具体的な意見をお聞かせ下さい。

()

別添のハガキでご回答をお願いいたします。